

# 平成26年度事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション

## 1. 事業の成果

平成26年度はBA設立11年目、次なるステージとして、2020年の東京オリンピック、TPPを視野に、映像サービス・ビジネスの発展、国際競争力の強化に貢献する産官学連携の講演会、サロン、シンポジウム、研究会活動を継続した。また、新産業の創出、産業のスマート化、プラットフォーム(WEB)の国際標準化に貢献する「スマートプラットフォーム・フォーラム(委員長:村井純教授)」活動を推進した。

平成16年度から開始した「ブロードバンド特別講演会」は、本年も5月と12月に開催、会場参加は377名、ネット来場者は2,800名、ネット配信が中心になってきている。

また、平成16年度から開始した「BAエグゼクティブサロン(勉強会+交流会)は今期9回(通算95回)、平成19年度から開始した「BAクリエイターズサロン(勉強会+名刺交換会)」は今期3回(通算26回)開催した。

ブロードバンド(BB)環境における映像配信の成立・発展に向け、平成20年に設置した「映像配信ビジネス研究会」は、今期も10回(通算67回)定期的に開催した。また1月に、「どうなる? どうする? 2020年に向けた映像サービス～」をテーマに、「第8回ブロードバンド特別シンポジウム」を日本プレスセンターで開催した。

昨年度設立した「スマートプラットフォーム・フォーラム」は、農業分野の課題を3分科会で検討し成果を挙げた。コンテンツ分科会は、活動での成果をLOD Challenge Japan2014年に応募し、アイデア部門優秀賞を受賞した。インフラ分科会は、SRII東京サミットに連動し「農業×IT前提社会を創るアイデアソン」を開催した。サービス・WEB分科会は、農業分野のWEB国際標準作りに向け、W3C Agriculture CGを立ち上げた。また、3月に分科会の活動状況報告、「農業ITの将来と「スマートアグリ」のグローバル展開を議論する第3回公開フォーラムを開催した。また農業に続く第2弾として、9月に健康・医療分野を対象とする第2回公開フォーラムを開催した。

一方財政基盤の確立に向け、税制が優遇され寄附が集めやすくなる認定NPO法人の資格取得に向け、個人からの協賛金(資金援助)を募るサポーター募集を本格化した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
情報化社会の発展を図る活動1	「ブロードバンド特別講演会」 第21回(ITベンチャー成功の秘訣! ~ITベンチャー事業戦略を語る~) 記念講演:間下直晃(ブイキューブ社長:株式会社ブイキューブのIPOまでの軌跡と、日本発のサービスとしてのアジア展開)、講演Ⅰ:藤田恭嗣(メディアドゥ社長:メディアドゥが考える電子書籍事業戦略)、講演Ⅱ(猪子寿之(チームラボ 代表:ビジネスは、すべてがテクノロジーとなり、そして、すべてがアートであった時のみ、生き残っていく)、 <パネルディスカッション>モデレータ:田村真理子(日本ベンチャー学会 事務局長)、特別ゲスト:原 丈人(デフタ・パートナーズグループ代表) パネリスト:間下直晃、藤田恭嗣、猪子寿之	5月20日	明治記念館 鳳凰の間	17名	BBに関心のある人 会場参加:175名 ネット来場者数:1,300	1,870

	第21回(情報セキュリティの現状と課題～2020年の東京オリンピックに向けて～) 基調講演: 谷脇康彦(内閣官房内閣審議官)、講演Ⅰ: 安田 浩(東京電機大学 未来科学研究科委員長: サイバーセキュリティのパラダイムシフト)、講演Ⅱ: 名和利男(サイバーディフェンス研究所 理事: 攻撃側からみた、防御側の動向変化)、<パネルディスカッション>モデレータ: 三角育生(内閣官房情報セキュリティセンター 内閣参事官)、パネリスト: 後藤厚宏氏(情報セキュリティ大学院大学 情報セキュリティ研究科長・教授)、大河内智秀(東京電機大学総合研究所 客員准教授)、名和利男	12月11日	明治記念館 曙の間	18名	BBに関心のある人会場参加: 202名 ネット来場者数: 1,500	
経済活動の活性化を図る活動	「BAエグゼクティブサロン」(人材育成に貢献する活動) 第87回(hitoeから人へ～NTTが考える「ウェアラブル」の本質～) 森内一成(NTT研究企画部門担当部長)	4月17日	NTTデータ本社	50名 (延べ)	BB関係の経営者、 上級管理者: 247名	2,001
	第88回(Orange Fab～オレンジの「オープン・イノベーション」への取り組み～) 小山田憲功(オレンジジャパン CTO代理)	6月20日				
	第89回(M2Mが切り拓くデータ駆動型経済ビックデータ) 森川博之(東京大学先端科学技術研究センター 教授)	8月5日				
	第90回(世界最先端IT国家創造宣言と工程表の改定等について) 濱島秀夫(内閣官房 IT総合戦略室 参事官)	9月19日				
	第91回(インターネット産業革命時代を生き抜く思考法) 杉本誠司(ニワンゴ 代表取締役社長)	10月16日				
	第92回(日本のICT/IT産業の行方を左右する2015年/2045年問題とは?) 藤原 洋(ブロードバンドタワー 代表取締役会長)	11月20日				
	第93回(ネットとハードの混合経済の未来～CESの隙間から見る) 境 真良(経済産業省 商務政策局国際戦略分析官)	1月21日				
	第94回(スマートライフのパートナーへ) 田村穂積(NTTドコモ執行役員 スマートライフ推進部長)	2月19日				
	第95回(移動体向け放送NOTTVの挑戦-現状と将来-) 石川昌行(mmbi 取締役 経営企画部長)	3月19日				
	[BAクリエイターズサロン](人材育成に貢献する活動) 第 24 回(CG/VFX 産業の葛藤と世界の中の日本～クリエイターのモチベーションとは～) 秋山貴彦(4Dブレイン 代表取締役)	5月9日				
第25回(CGデータ共有化によるコンテンツ制作) 今村理人(マーザ・アニメーションプラネット株式会社)	7月30日					
第26回(ゲームエンジンにおけるインタラクティブ映像の可能性) 尾小山 良哉(WISE(ワイズ) 代表取締役)	10月27日					
情報化社会の発展を図る活動2(その1)	[映像配信ビジネス研究会] ブロードバンド(BB) 環境における映像配信ビジネスの成立・発展に向け、平成 20 年から開始した「映像配信ビジネス研究会」(委員長: 中村伊知哉(慶應義塾大学教授)、副委員長: 境真良(国際大学 GLOCOM 客員研究員))は、映像配信の共通基盤に関する事項、コンテンツ配信に関する最新動向等について勉強会(研究会)を今期 10 回(通算 67 回)開催した。また、研究会後の交流会(懇親会)、10 月に来日した韓国コンテンツID・著作権関係者との交流も実施した。	4月～3月	WOWOW 会議室	40名 (延べ)	研究会参加者: 244名	
情報化社会の発展を図る活動2(その2)	[ブロードバンド特別シンポジウム] 2020年の東京オリンピックが決まり、これまでの映像サービス・ビジネスの発展に貢献する活動の集大成に向け、「どうなる? どうする? 2020年に向けた映像サービス～」をテーマとする「第8回ブロードバンド特別シンポジウム」を開催した。 基調講演: 中村伊知哉(慶應義塾大学 教授: メディア2020)、講演Ⅰ: 栗山浩樹(NTT 取締役、新ビジネス推進室長兼2020準備担	1月13日	日本プレスセンター	8名	BB関係者会場参加者: 191名 ネット来場者数: 1,450	

	当：2020 に向けたNTT グループの取り組み)、講演Ⅱ：桑原知久(NHK 編成局 編成主幹:テレビに視聴者を取り戻せるか～NHKハイブリッドキャストと放送法改正が目指すこと～)、講演Ⅲ：杉本誠司(ニワンゴ 代表取締役社長:「ネットワーク空間の社会」と今後展望)、＜パネルディスカッション:4K/8K VS スマートTV、テレビ画面は誰のものか?＞ モデレータ:関口和一(日本経済新聞 論説委員兼編集委員)、パネリスト:中村伊知哉、栗山浩樹、桑原知久、杉本誠司、元橋圭哉(次世代放送推進フォーラム 事務局長)				4,053
情報化社会の発展を図る活動2(その3)	[スマートプラットフォーム・フォーラム] 平成25年度に発足した「スマートプラットフォーム・フォーラム」(委員長:村井純教授)は、検討課題をオープンに議論する公開フォーラムを2回開催した。また、3分科会で、産業のスマート化、プラットフォーム(WEB)の国際標準化に貢献する活動を進めた。 第2回(第2弾:スマート健康・医療プラットフォームの課題を考える) 基調講演:松本純夫(東京医療センター 名誉院長:医療におけるICT分野の役割と使命)、講演Ⅰ:吉田 淳(内閣官房 健康・医療戦略室 企画官:)講演Ⅱ:森川富昭氏(慶應義塾大学大学院准教授:ヘルスケアプラットフォームにおける価値創造)、＜パネルディスカッション:モデレータ:森川富昭、パネリスト:松本純夫、吉田淳、渡辺賢治氏(慶應義塾大学教授)、田口空一郎氏(フューチャー・ラボ 代表理事)、庄司昌彦(コンテンツ分科会主査)	9月8日	慶應大学三田キャンパス北館ホール	7名	会場参加:165名 ネット来場者:147
	第3回(農業ITの将来と「スマートアグリ」のグローバル展開) 基調講演:村井純委員長(スマートプラットフォーム:具体的な進展) 3分科会報告(南政樹インフラ分科会主査、庄司 昌彦コンテンツ分科会主査、舟橋洋介 WEB 分科会主査(代理説明:南政樹 幹事) <パネルディスカッション(その1):農業ITの将来～農業ITが当たり前になる時代に～) モデレータ:村井 純 委員長、パネリスト:榊浩行(農林水産省 生産局農産部技術普及課 課長)、二宮正士(東京大学大学院 教授)、長網宏尚(クボタ KSAS業務グループ 長)、遠藤 諭(コンテンツ分科会副主査)	3月26日	慶應大学三田キャンパス北館ホール	8名	会場参加:113名、 ネット来場者:710
	3分科会(コンテンツ、サービス・WEB、インフラ) ・コンテンツ分科会:農業分野のデータ・コンテンツの課題を検討し、活動での成果(農業生産物の選択の幅を広げるノーバ(農場)～日本の農業を魅力あるものにするIT利活用～)をLOD Challenge Japan 2014年に応募し、アイデア部門優秀賞を受賞した。	4～3月 8回+	角川第3本社ビル会議室等	16名(延べ)	参加者:66名(延べ)+ (受賞式)
	・インフラ分科会:スマート農業に必要な通信インフラ、電源確保(センサー用、基地用等)を検討した。また、スマートプラットフォームの構成法、センサーネットワーク/各種アプリケーションとWEBインターフェースについて検討した。また、SRII(Service Risach & Innovation Institute)東京ミットと連動し、「農業×IT前提社会を創るアイデアソン」を開催した。	4～3月 9回	WEB会議	18名(延べ)	参加者:68名(延べ)
	・サービス・WEB分科会:農業分野のWEB国際標準作りに向け、W3C Agriculture CG(コミュニティグループ)を立ち上げ、2名の議長を送り出し、国内/国際WEBの標準作りに向けた活動を開始した。	3月1日	東京大学弥生キャンパス	3名	参加者:38名
	・健康・医療分科会:主としてヘルス分野のスマート化の検討を、神奈川県とのCHO活動とも連携して開始した。	9～4月 10～3月 3回	メルリンクリスト WEB会議	2名 6名(延べ)	参加者:20名(延べ) 参加者:21名(延べ)

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)
	実施しなかった				